

完全
無所属

2歳の娘の母

かじおか 香織

民間企業17年の経験と女性管理職の実績を活かし、2歳児の母親としての視点から、子育て世帯に選ばれ続ける守谷を目指し、安定財源を確保したうえで、安全安心の高齢者福祉を実現します。

今こそ、流れを変えるとき！

まちのどこでも、だれもが安心して賑やかにくらしをつくるためのまちの実現

【まちづくりの現状の方向性】

現在、守谷駅東口市有地利活用基本計画を元にして、ランチ守谷が2022年にオープンしました。その中には、公共エリアのランチパーク守谷があり、市は「豊かな自然と人の賑わいが共存するサステナブルな駅前拠点創出プロジェクト」として、ランチパーク守谷を多くの市民や市民団体、市内事業者や民間企業などが集まる駅前の拠点にするプロジェクトを実施し、複数の賑わい創出事業を行っています。今後は、この流れを市内全体に広げ、まちのどこでも、だれもが安心して賑やかにくらしをつくるためのまちの実現を進めていく必要性があります。

【今後のまちづくりの方向性に対し不満が多い 守谷市民の声】

まず、市民の声を整理します。現状のまちづくりの方向としては、肯定的な意見が多いです。しかし、今後のまちづくりの方向性としては、住みやすいまちづくりためには、適切な規制が必要なことがわかります。

問28 あなたは、守谷市の住宅地、商業地、農地などが調和していると思いますか

No	カテゴリ	回答数	%
1	調和している	192	14.8
2	調和している部分が多い	746	57.4
3	調和していない部分が多い	249	19.2
4	調和していない	79	6.1
	不明	34	2.6
	全体	1,300	100

問29 市では乱開発などを防ぎ、秩序あるまちにしていけるため、土地や建物に対する規制を設けています。あなたはこうした規制についてどう思いますか

No	カテゴリ	回答数	%
1	強化した方がよい	502	38.6
2	今のままでよい	662	50.9
3	緩和した方がよい	111	8.5
	不明	25	1.9
	全体	1,300	100

<https://www.city.moriya.ibaraki.jp/shisei/gyouseihyouka/1006780/1006785.html>
守谷市役所「令和3年度 まちづくり市民アンケート」

【では、どんなまちづくりが必要？】

守谷駅前、つくばエクスプレス開業後に作られたアワーズ守谷、2022年にオープンしたランチ守谷など、東口での再開発が進んでいます。また、駅南側にはイオンタウン守谷など、駅周辺に商業施設は複数ありますが、子育て、文化施設はほとんどなく、市民の意見を取り入れた駅前全体での再整備、そして、市内全域での議論が必要です。（以下、詳しく、お伝えします。）

●今後のスケジュール

○市政報告会&対話集会

月 日	会 場	時 間
10月 6 日(日)	郷州公民館	10:00～11:30
10月12日(土)	中央公民館	
10月14日(月・祝)	文化会館	
10月26日(土)	高野公民館	

是非、お気軽にご参加ください！





かじおか香織のマニフェスト

第8弾

**まちのどこでも、だれもが安心して
賑やかなくらしをつくるためのまちの実現
を推進します**

【私の提案～まちのどこでも、だれもが安心して賑やかなくらしをつくるためのまちの実現】

①安心して住める守谷の実現

市の守谷市立地適正化計画では、既存住宅市街地の活性化を図るまちづくりの課題として、「既に人口減少が始まっている住宅団地では、地域活力を維持するための取組が課題となっています。現在行っている学生のシェアハウスなどのマッチングを拡充することにより、空家の発生を極力抑制するほか、避けられない空地の発生を地域環境の悪化につながらないような取組が課題となります」としていますが、守谷シェアハウス事業は令和4年度で終了しており、その後、住宅団地に関する施策は行われておらず、住宅団地の人口減少は解消されておられません。

そのため、子育て世代の住宅費購入に対しての金銭的支援の検討を行います。特に、みずき野・北団地等を想定し、市内全体の活性化を検討します。

②だれでも利用出来て遊ぶことができるインクルーシブ公園整備

市は守谷市総合公園都市計画において、屋外運動施設に関する課題として「市街化調整区域の地区（板戸井、赤法花・同地、大柏（TX 沿線）、野木崎、高野）において、日常的に利用できる公園、健康増進を目的とした公園が不足している。」としています。

その課題を解消する目的で、野木崎地区に守谷市総合公園として、屋内運動施設や3000㎡のインクルーシブ遊具広場を整備する予定となっています。

ですが、大きな公園が市内に1か所あれば、市民が日常的に利用できる公園の問題が解消されるわけではありません。

その課題を解消するため、ユニバーサルデザイン視点での公園整備を行います。年齢、性別等関係なく誰もが安心して時間を過ごせる公園を市内全体に作ります。



③賑やかな野木崎地区づくりへ

野木崎地区の守谷市総合公園の整備にあわせて、新モビリティサービスの導入が検討されています。新モビリティサービスの導入ルートは①公園⇄守谷駅、②公園（+近隣施設）⇄守谷 SA、③公園内の移動、の3つが想定されており、総合公園と新モビリティサービスによって人の流れが大きく変わる可能性があります。しかし、総合公園への往復を目的とするだけでは新モビリティサービスの運営が続かなくなる可能性もあり、総合公園単体で考えるのではなく、スマート IC、区画整理などの計画を踏まえ、野木崎地区の開発すべてを一体として捉え、それぞれの事業が市にもたらす効果や役割を明確にし、統一感のあるひとつのプロジェクトとして打ち出す必要があります。



野木崎地区では、産業・商業・農業各分野が連携したまちづくりを進めます。連携を象徴する施設として、子ども向けのテーマパークなどの誘致を目指します。

Profile

- 昭和57年1月3日生まれ
- 両親ともに公務員の家庭で育つ
- ひかり幼稚園（守谷市本町）卒業
- 取手市立永山小・中学校卒業
- 茨城県立土浦第一高等学校卒業
- 東京女子大学 文理学部 英米文学科卒業
- 元常陽銀行守谷支店 支店長代理
営業成績を評価され、13期連続で頭取賞を受賞し、
最短で支店長代理を拝命
- 2022年に第一子が誕生し、子育て奮闘中

女性市長と 新しい守谷をつくる会

〒302-0109 茨城県守谷市本町 257-5
 TEL : 0297-38-5593
 FAX : 050-3145-2882
 E-mail : office@kaori-moriya.com
 Web : https://kaori-moriya.com

かじおか香織に共感してくださる方、
ご支援してくださる方を募集しております。
詳しくは下記のお電話・LINE・HPより
お問合せください。



QRコードから各種SNS
にアクセスできます。



討議資料

